

令和 2 年 度 事 業 報 告

1. 概 要

昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的規模での拡大という、未曾有の事態に見舞われました。緊急事態宣言が出され社会的経済活動は大きな打撃を受けました。宣言が解除された以降は徐々に回復してきたように見えた中で、年末に来て欧州各国におけるロックダウン、国内での第三波の襲来など先行きが不透明な情勢となっております。

また、少子高齢化において、労働力の減少を皆様に人手不足に立ち向かうためにもシルバー人材センターの期待が高まっております。

こうした中、就業機会や会員確保するため会員募集のリーフレットのホームページのアップや、関係団体への配布など実施して、シルバー人材センターの役割をPRするなど積極的に推進してまいりました。

また、県連合が行う刈払機・植木剪定・介護施設運転・整理収納講習会に参加し、一般及び会員の受講者 15 名が資格を取得し後継者育成並びに会員拡大に繋げることが出来ました。

2. 活動状況

(1) 安全・適正就業対策の推進

安全すべてに優先することを念頭に一人ひとりが自覚し、安全・適正就業に徹し事故防止に努めました。

- ・安全対策基本計画及び安全就業事業計画を策定し、安全対策の推進と安全意識普及啓発を行なった。
- ・安全・適正就業のパトロール隊による就業場所の巡回及び点検を実施した。
- ・安全委員会で事故発生の要因分析し再発防止に努めた。
- ・毎月「安全だより」を発刊し情報提供等を通じ、意識の高揚を図った。
- ・リーダーが中心になり、作業確認や安全就業等の始業前打合せを徹底した。

(2) 公正・適正就業の推進

シルバー事業の基本である、臨時的かつ短期的就業また、軽易な業務を再確認し適正ガイドラインに従って、これまで契約してきた委任、委託や請負の一部を派遣に切替えた。併せて、ローテーション就業も推進した。